

平成17年度 決算報告書
(第2期)

国立大学法人鳥取大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	12,760	12,760	—	
施設整備費補助金	745	747	2	(注1)
船舶建造費補助金	—	—	—	
施設整備資金貸付金償還時補助金	667	2,002	1,334	(注2)
補助金等収入	—	75	75	
国立大学財務・経営センター施設費交付金	52	52	—	
自己収入	16,216	17,826	1,610	
授業料、入学金及び検定料収入	3,704	3,790	85	(注3)
附属病院収入	12,406	13,829	1,423	(注4)
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	105	206	100	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,019	1,152	132	(注6)
長期借入金	186	186	0	
貸付回収金	—	—	—	
承継剰余金	206	6	△ 200	(注7)
旧法人承継積立金	—	—	—	
目的積立金取崩	—	9	9	
計	31,854	34,818	2,964	
支出				
業務費	23,860	23,334	△ 526	
教育研究経費	13,123	11,410	△ 1,713	(注8)
診療経費	10,737	11,924	1,186	(注9)
一般管理費	2,433	2,919	486	(注10)
施設整備費	983	985	2	(注1と同じ)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	—	75	75	
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,019	1,159	140	(注11)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	3,350	4,682	1,331	(注12)
国立大学法人財務・経営センター施設費納付金	—	—	—	
国からの承継賠償金支払金	206	6	△ 200	(注7と同じ)
計	31,854	33,163	1,309	
収入-支出	—	1,654	1,654	

○予算と決算の差異について

(注1) 施設整備費補助金については、平成17年度補正予算(アスベスト対策事業)により事業遂行に必要な分析調査を実施したため、予算額に比して決算額が2百万円多額となっております。

(注2) 施設整備資金貸付金償還時補助金については、平成17年度補正予算により繰上げ償還を行ったため、予算金額に比して決算金額が1,334百万円多額となっております。

(注3) 授業料、入学金及び検定料収入については、平成17年度一般選抜入学者に係る授業料の前納を行わないこととしたため(平成18年度は一部実施)、予算額に比して決算金額が85百万円多額となっております。

(注4) 附属病院収入については、病床稼働率の向上、手術件数の増、平均在院日数の短縮、ICU及び救命救急加算の増、外来における検査及び画像診断の増等により予算金額に比して決算金額が1,423百万円多額となっております。

(注5) 雑収入については、主として研究関連収入、家畜治療収入等の増収により予算金額に比して決算金額が100百万円多額となっております。

(注6) 予算段階では予定していなかった民間等からの受託研究、共同研究の獲得に努めたため、予算金額に比して132百万円決算金額が多額となっています。

(注7) 承継剰余金については、訴訟等の結果が確定しなかったため、予算金額に比して決算金額が200百万円少額となっています。

(注8) 教育研究経費については、経費の節減、人件費の抑制、退職手当の残等により予算金額に比して決算金額が1,713百万円少額となっています。

(注9) 診療経費については、附属病院収入の増収に伴う経費として予算金額に比して決算金額が1,186百万円多額となっています。

(注10) 一般管理費については、学内予算の変更による修繕関係経費等の追加により予算金額に比して決算金額が486百万円多額となっています。

(注11) (注6)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が140百万円多額となっています。

(注12) (注2)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が1,331百万円多額となっています。

○決算額と損益計算書上の計上額との差異について

教育研究経費、診療経費、一般管理費の決算額と損益計算書上の計上額との差の主なものは、固定資産取得に関わる支出であります。

○記載金額の表示について

記載している金額は、百万円未満の端数を切捨てて表示しております。